



日本聖公会
大阪教区教務局
〒545-0053
大阪市阿倍野区
松崎町2-1-8
TEL 06-6621-2179
FAX 06-6621-3097
発行責任者
教務局長 司祭 原田光雄

〈HP〉 <http://www.nskk.org/osaka/index.htm> 〈e-mail〉 office.osaka@nsk.org

第432号 2013年8月4日発行

今年も8月を迎えました。私たちは、広島そして長崎に原子爆弾が投下されたことを想い起こし、戦争の犠牲者、そして私たちが犠牲を強いた東アジアの方々を憶えて祈ります。

私は恥ずかしいことに、20歳になるまで、ほとんど原爆記念日や終戦記念日を意識したことがありませんでした。戦争・紛争をこの身で体験したこともなく、自分とは関係のないことでした。「はだしのゲン」という漫画がありますが、原爆の出来事も漫画の中のことでしかなく、ただただ平和なこの国での生活を満喫していました。

自分とは関係がなかった事柄を少しづつ意識しだしたのは、人間の命に目を向けるようになってからだっ

たと思いません。学生

のときですが、アルバイトの帰り道に歩道の真ん中で倒れている男性がいました。一見してホ



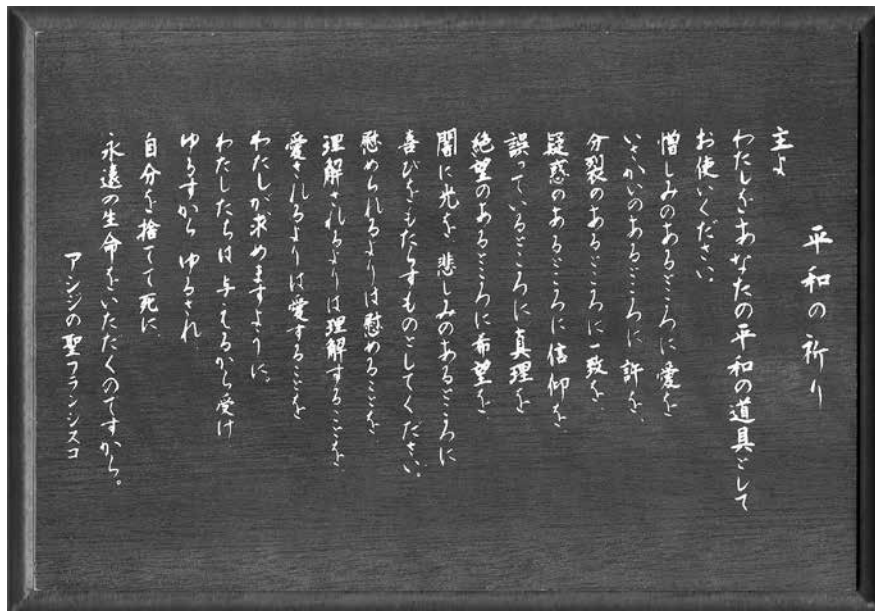
平和の祈り

執事 ヨハネ 古澤 秀利

ームレスと分かる服装で、どうやら既に亡くなっているようでした。いわゆる「行き倒れ」です。今の時代にこんなことがあるのか、と驚いたことを

覚えていま

す。ちょうどこの直後に、難波の地下連絡通路に寝泊まりしていた人たちが強制退去させられる出来事があり、彼らは無事に生活しているの



「アシジの聖フランシスコの祈り」
(高槻聖マリヤ教会創立50周年記念作成のプレートより)

銃弾が飛び交うことや空襲こそないものの、私が暮らしているこの場所は平和な状態ではないんだなと感じた時、

高槻聖マリヤ教会牧師補
プール学院中・高等学校チ
ャプレン補、ヨハネ学園チ
ャプレン補)

だるうか、などと考えていま

した。「平和なこの国」という言葉が崩れた瞬間でもありました。

今まで自分とは関係が無いと思っていたことが実はそうではなく、私自身と深い関係があることに気づきました。私たちが命を大切に出来なかつた過ちを通して、命の尊さを示す道の上に自分が立たされているような気がしました。

8月6日は「主イエス変容の日」です。イエスの告げる神の国が言葉だけのことではなく、現実の出来事であることが示された日です。私たちの過ちによって多くの人の命が奪われたことを想い起こし、同時に今もなお多くの人の命が奪われ、また危機にさらされていることに目を向けながら、主が示してくださった神の国の働きのために、祈りまた働きを共にしていきたいと願っています。

(ふるさわ ひでとし)

残留放射能を体内に吸い込
 作業で土埃りとともに大量の
 いう知識が全く無く、連日の
 ととなった。当時は放射能と
 の後の私をとて苦しめるこ
 爆心地に通ったことは、そ
 の通達があったからである。
 ので「関係者で焼却せよ」と
 た。火葬場も破壊されていた
 出してはグラウンドで焼却し
 げた級友や教師の遺体を掘り
 校舎に数日間通った。焼け焦
 落下中心地で、廃墟となった
 旧制中学一年生の夏である。
 け果て、私は被爆者となった

私
 稚園、牧師館が全壊し、直後
 の避難所生活と二年間の仮設
 住宅を経験した。熟睡中に突
 然家屋が倒壊し天井が落ちて
 きた。教会は甲陽断層の真上
 に在ったので、近隣の多くの
 人が犠牲となった。卒園児や
 信徒も何人か亡くなった。市
 内の斎場も被害を受け閉鎖さ
 れたので、斎場探しに苦労し
 た。和歌山県岬町で引き受け
 てくれたとき、ほっとした。
 一時に数千人を受け入れる斎
 (次頁につづく)

☆一九四五年八月九日
 学徒動員先を早退し、家に
 着いたとたん、原爆の閃光と
 爆風に襲われた。明治以来の
 伝統を持ち、祖父の代から守
 ってきた長崎聖三一教会は焼
 けてきた

☆一九九五年一月一七日
 私が牧会していた教会と幼
 稚園、牧師館が全壊し、直後
 の避難所生活と二年間の仮設
 住宅を経験した。熟睡中に突
 然家屋が倒壊し天井が落ちて
 きた。教会は甲陽断層の真上
 に在ったので、近隣の多くの
 人が犠牲となった。卒園児や
 信徒も何人か亡くなった。市
 内の斎場も被害を受け閉鎖さ
 れたので、斎場探しに苦労し
 た。和歌山県岬町で引き受け
 てくれたとき、ほっとした。
 一時に数千人を受け入れる斎



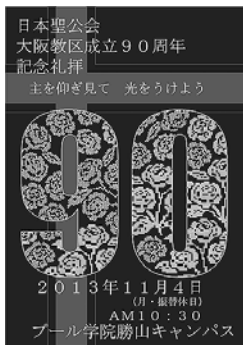
大阪教区 90周年を迎えて ③

四つの記念日

司祭サムエル松岡 虔一

“主を仰ぎ見て 光をうけよう”

大阪教区成立90周年記念礼拝(聖餐式)のお知らせ



と き：2013年11月4日(月・振替休日)午前10時30分より

と ころ：プール学院中高勝山キャンパス メアリーズホール

司式・説教 主教 サムエル 大西 修 師父

当教区の90周年記念礼拝も、
 いよいよあと3カ月となりました。

当日は教区聖歌隊に京都教区
 聖歌隊が加わっていただき、
 100人を超す聖歌隊で神様を賛

美いたします。また、会場となるプール学院高校の音楽
 系クラブの皆さんにも、礼拝奉仕に参加していただきます。

先日、記念聖歌「神様の風に乗って」が、キッズフェ
 スティバルに参加した子どもたちの言葉を集めて完成しま
 しました。各教会に譜面をお送りしますので、それぞれで練
 習していただき、当日は教区全体での大合唱となりますこ
 とを願っています。

当日はお隣りの京都教区・高地敬主教、神戸教区・
 中村豊主教をお迎えするとともに、台湾聖公会から頼榮
 信主教をお招きしています。

100周年に向けて新たな一歩となる記念礼拝を、ぜひ
 ご一緒にお捧げいたしましょう。

午後のプログラム～90周年カフェ～

- ◇教会のパネル展、ミニバザー
 全22教会のパネル展と、12教会のバザー出展が
 あります。
 また東日本大震災被災地からの出展もごぞいます。
- ◇音楽のつどい
 プール学院各クラブによる演奏をお楽しみください。

お願い

- ・当日、お履き物はそのままお入りいただけますが、
 ハイヒールなど床を傷めるおそれのあるものはご遠
 慮ください。
- ・礼拝終了後、メアリーズホール内で集合写真を撮り
 ますので、そのままお残りください。
- ・聖歌隊練習は、9月7日(土)、10月5日(土)。いざ
 ずれも午後3時より大阪聖パウロ教会礼拝堂で。最終
 は11月2日(土)午後2時より清心館、午後3時よりメ
 アリーズホールで全体リハーサル。

(前頁よりつづく)
場なんてどこにもない。

震災で最も必要なのは飲料水である。一つだけ残っていた国道沿いの井戸に長蛇の列ができ、何時間も並んだ。幸い三日後に大阪市内の信者さんがリュック一杯のペットボトルを持ってきてくれた。ありがたかった。近代都市は井戸をことごとく埋めてしまった。おろかなことだ。

☆二〇〇五年四月七日

三月末に心のこもった送別会をして下さった。震災復興の苦業を共にした信徒の皆さんと別れるのはとても辛かった。古代大和の国に終の棲家を求めていたが、西宮から即入院となった。最終検査を受けて七日に手術した。九時間に及ぶガンの摘出手術である。大量の出血との闘いであった。

この大病院で三年後の四月七日に再度全身麻酔の手術をうけた。四月七日は鬼門である。ところで最初の手術の三カ月後に時の主教さんから無牧教会を手伝ってくれとの辞令を受けた。ともうれしかった。この教会とは七年間の親しい交わりであったが、今春車をやめたので辞任した。別れはいつも辛い。

☆二〇一三年十一月四日

大阪教区成立九十周年記念礼拝を心待ちにしている。被爆当時ここまで長生き出来るとは夢だに思わなかった。中学時代は何度か「もう駄目か」と思った。母親の二倍以上を生きて、父親の年齢をはるかに超えた。命は自分で獲得したのではない。誕生は完全に受動態である。生涯を閉じるのも神さまの領域であり絶

対に受け身である。私たちは神さまに「生かされて、生きられている」。この年齢まで生かされたことを感謝し、記念礼拝には喜びをもって参加したい。聖歌隊の練習もすでに佳境を迎えたと聞く、私も一杯の声で賛美したい。

(まつおか けんいち・退職司祭 富田林聖アグネス教会協力司祭)



教会と地域福祉

日本聖公会 社会福祉連盟(聖社連)

第54回大会が「教会と地域福祉」をテーマに、7月11日から13日まで川口基督教会を主会場に開催されました。

教区成立90周年を迎えたこの時、あらためて教会の働きを見直してみようという機会が与えられました。

の業は、大阪教区の中でも宣教が開始された明治初期からとても大切にされてきました。それが教育、医療、福祉の働きとして、プール学院、桃山学院、聖バルナバ病院、博愛社、聖ヨハネ学園、東光学園などに結実し、現在もそれぞれが置かれている地域社会の中でキリストの良き証しをしています。三光塾、愛光幼稚園、聖ミカエル保育園なども教会の働きとして生まれ、教会とともに歩んで来ています。現在それぞれの地にある教

会は設立当初、その地域での宣教課題を見据えて設立されたと思います。それでは現在わたしたちが在籍している教会の宣教課題は一体何なのでしょう。その当時と同じでしている理由と、その地域にどのような関わりを持って教会の働きを続けているかを見直してみる必要があります。

と教会に集う信徒の言動は、地域社会に大きな影響を及ぼすのは当然のことです。近隣の良い人間関係が築かれていなければ、地域社会の人々が今本当に求めているものが何であるかを知ることが出来ず、彼らの必要に添えていくことは出来ません。

知り、それを満たすものであったからです。わたしたち一人一人は教会です。その意味からすると、わたしたちが住んでいる地域で、その地域の人々とのような関わりを持って日々暮らしているのかが問われます。地域の人々の思いと言葉の中にキリストの声を聞くことが、教会の働きであり、わたしたちの信仰の在り方をもう一度問い直すことになるのではないかと思います。

(主教サムエル大西 修)

特別寄稿

原発問題についての Q & A

日本聖公会・原発と放射能に関する特別問題プロジェクト

「いっしょに歩こうパート

Ⅱ」が発足した中で、とくに原発と放射能に関わる諸問題については、「原発と放射能に関する特別問題プロジェクト」が立てられ、日本聖公会常議員会で承認されました。

その目的は、日本聖公会第59（定期）総会で決議された声明『原発のない世界を求めて―原子力発電と放射能に対する日本聖公会の立場』に基づいて、イエス・キリストの福音に活かされて活動するこ

【はじめに】
総会決議「原発のない世界を求めて」―わたしたちが知っておきたいこと

東日本大震災とそれに伴う東京電力福島第一原子力発電所事故発生から2年以上が経過しました。その間被災者の状況は、全体として見れば、ほとんど改善されていません。

とにあります。

主が、弱い立場に置かれていた被災者と共におられますように。

なお、「原発と放射能に関する特別問題プロジェクト」ホームページを作成しました。

さしあたって、HP上に総会声明とQ&Aを掲載しています。また、Q&A作成上の参考資料も掲載しておりますので、ご利用ください。

<http://nssk.org/province/genpatsugroup/index.html>

くの危険もたいしたことはないと言っています。そして、「安全対策」を施しさえすれば、原発は安全であるどころか、日本の経済発展に不可欠のものだという論調が強まっています。

はたしてそれでよいのでしょうか？日本聖公会は、昨2012年の日本聖公会総会で、『原発のない世界を求めて―原子力発電と放射能に対する日本聖公会の立場』という声明を決議し、原子力発電に関わる問題を明らかにしました。それは、特定の政治的立場からではなく、神様によって造られ、与えられた「いのち」を守ることは、教会に与えられた責務であるとの立場からでした。この声明については、まだ十分に信徒・教役者の皆様に伝えられておらず、論議も深められているとは言えない状態にあります。さまざま意見が教会にあ

るの当然です。中には、原子力発電に反対ではない方もおられるでしょう。しかし、すべての人々に関わるこの問題の性質について学び、論議を深め、キリストの福音の立場とは何なのかを話し合うことはとても必要なことではないでしょうか。そういう意味で、総会決議はわたしたちが知っておきたい大切なことです。

日本聖公会放射能・原発問題特別プロジェクトは、さしあたって以下のようなテーマについて問題を整理し、問答集を作成しました。

- ①なぜ教会は原発問題を取り上げるのか
- ②原発の燃料はどこから来るのか、そこで何が起きているのか
- ③原発のコストは安いのだろうか
- ④原発は雇用を生みだし、地域を活性化させるだろうか
- ⑤地震・津波がなければ原発は安全だろうか
- ⑥核廃棄物はどうなるのだろうか
- ⑦内部被ばくと子どもたちの未来―被災地の声

- ⑧医療用放射線と原発被ばくはどう違うか
- ⑨電力不足と代替エネルギー
- ⑩原子力の平和利用はありうるのか
- ⑪原発は地球温暖化を防ぐだろうか
- ⑫反省と課題

【第一回】
なぜ教会は開発問題を取り上げるのか

原子力発電は、基本的には科学技術の問題であり、経済の問題であると言われていきます。それに対して教会が専門的・決定的な発言をすることはできません。しかし、それが「いのち」（人間のみならず全被造世界の）に関わる場合、キリスト者は、神が造り、日々支えてくださっている「いのち」を大切にするとする立場から、「いのち」を脅かすものと闘わなければなりません。洗礼を受けるとき「神に逆らうサタンを退け、墮落させ破壊するすべての悪の力と戦います」という誓約は、内面的な魂の事柄だけでなく、この世界全体に関わる

（次頁3段目につづく）

教区成立
90周年記念

ハンセン病についての研修会

国立邑久光明園園長

畑野研太郎さんを講師に迎え

司祭 施洗者ヨハネ 山本 眞

イエス様が関わられた「重い皮膚病のために差別されていた人々」のこと、頭では理解しているつもり、「ハンセン病」について、わたしたちは本当にわかっているのでしようか。教区成立90周年を迎える今、改めて学び直したいと願って研修のときが用意されました。

講師は、わたしたちの教区の中にあつて、かつてバングラデシュの地でハンセン病者と関わり、今、国立邑久光明園で園長として働く畑野研太郎さん（芦屋聖マルコ教会信徒）です。6月23日（日）午後4時から大阪聖パウロ教会1階会議室で開催された研修会には、8教会から25人が参

加、95分間にわたる講師のお話に耳を傾けました。最初の研修会と言うこともあつて、病気のこと、日本にある療養所のこと、強制収容

（前頁よりつづく）
求めて、わたしたち自身のライフスタイルをも含めて、エネルギー政策を転換すること求めています。

聖公会の信徒のみなさんの中には、原子力産業に関わっている方もおられます。その中で苦悩し、場合によっては被ばくすらしながら、被害を極力抑えるために努力しておられることには敬意を払いま

す。また、原発を廃止したとしても、その後の処理には長い年月と原子力関連技術者・労働者の力が必要です。その上でなお、現在と将来の世代のいのち、被造物全体のいのちのために、原発を撤廃し、新たな道を切り拓くことを教会は主張すべきではないでしょうか。

と門前収容、ライ予防法違憲訴訟の熊本地裁判決とその意義など、お話は多岐にわたり、講師の熱い思いを十分に感じさせていただきながらも、時間が足りない、もっと聞きたい、もっと学びたいという思いを強くさせられたことでした。

世界の聖公会は一致して、教会の働きについて5つの指標を定めています。それは、①神の国の福音を宣べ伝えること、②新たな信徒と共に、学び、成長すること、③愛の奉仕によって人々の必要に応えること、④社会の不正義な構造の変革に参与し、あらゆる暴力に立ち向かい、平和と和解を追求すること、⑤被造物を守り、地上のいのちを保持し、新たにするために努力すること、です。こうした点からも、原子力発電と放射能の問題について、キリスト者としてしっかりと受けとめ、神の声に耳を傾けることはとても大切なことです。

開催予告

お く こうみょうえん
邑久光明園を訪ねて
ハンセン病研修旅行

日時：2013年10月3日(木)～4日(金)
宿泊：県営岡山いこいの村
参加費：2万円
募集人数：30名（定員に達し次第締切）
交通手段：新大阪駅集合
貸し切りバス(40～50名乗り)

— 内容 —

午前9時集合 昼食は弁当
午後1時30分 邑久光明園着 開会礼拝、
畑野研太郎園長のお話、園内見学
夕の祈りの後、宿舎へ
夕食懇親：畑野研太郎園長とともに
翌朝 朝食後光明園へ
園内の家族教会礼拝堂を借用して聖餐式(信徒と交わり)
出発後 日生で昼食・買物
夕方 新大阪着 解散

主催：大阪教区成立90周年記念実行委員会
(手配：JTB夢旅人 野田)

お問い合わせは _____
司祭 山本 眞(芦屋聖マルコ教会)まで

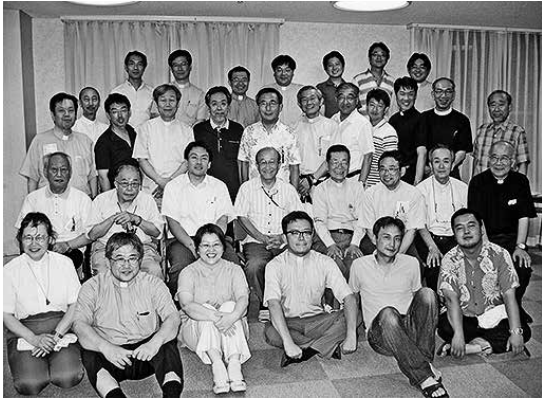
マルコ教会牧師)

監修・河田昌東(NPO法人
チェルノブイリ救援・中部
理事)

京都教区との合同修養会に参加して

執事 クリストファー 奥村 貴充

7月2日から4日にかけて京都教区との合同教役者会が白浜で行われ、今回は自殺予防に取り組んでいる「白浜レスキューネットワーク」の活動をしておられる藤敷牧師（白浜バプテスト・キリスト教会）のお話を聞きました。白浜町は観光の盛んな場所ですが、一方では紀南地域で生活保護者が最も多いという課題を抱えている自治体でもあります。



そのような地域にあるこの教会は、先代の江見牧師の頃より三段壁で自ら命を絶とうとする人を救助してきました。教会の中ではこうした活動を教会・牧師がする必要があるのでどうか、二分するような議論もあり、実際に教会を離れる人もいたようです。しかし「サマリア人のたとえ話」を例に挙げて、助けられる人が善人か悪人かを問わず、教会は手を差し伸べていくという必要があると力説されました。救助された方は教会や付属施設で寝泊まりし、自立に向けた取り組みをしている教会の活動の中に、今も生きているイエスの姿があるような感じを受けました。

また最近では子どものための学習サポートや給食活動にも力を入れているというお話も伺いました。やはり教会は地域に出て行く、そしてそれによってその土

教区神学生紹介



ペテロ 金山 将司
ウィリアムス神学館の二年生金山将司です。出身は北関東教区でしたが、昨年神学生として実習をさせて頂いた際に川口基督教会から志願することを決意し、教会の皆様のお祈りとお支えを頂き、現在は聖職候補生志願者として大阪教区の教区神学生として頂きました。私は23歳で平成元年生まれです。出身地は埼玉県の東松山市で、東松山聖ル

地を耕すことができるという証しは、これからの教会の働きを考えていく上で有益なものでした。「私は社会派とは思っていません。教会としての活動だと考えています」という藤敷牧師の言葉が印象に残った修養会でした。
(おくむら たかみつ 聖贖主教会牧師補)

◎ ペテロ 金山将司

力教会に通いはじめましたが、小学生になってから、東松山聖ルカ教会牧師の戸塚哲也司祭（現在は宮古島聖ヤコブ教会）に洗礼を授けて頂きました。以降は北関東教区で聖職となった父の派遣先に合わせ、家族と共に教会を変わり、中学生になってから宇野主教様に堅信礼を授けて頂きました。大学生活は大阪の和泉市の桃山学院大学で送りました。

川口基督教会を始め、皆様に支えられて、大阪教区の教区神学生としてくださった神様のお導きに感謝し、またその召命の重さに心を引き締めております。教区神学生として今後、これまで以上に勉学に励むということは勿論、大阪教区の皆様との交わりを深め、大阪教区の様々な取り組みや宣教のイベントに参加させて頂き、共に学び、喜びや課題を共有させて頂ければと思います。

2013年度大阪教区 神学生を囲むつどい

日時：2013年 8月25日(日)
午後3時～4時30分

会場：大阪聖愛教会

会費：無料（席上献金があります）

— 神学生紹介 —

フランチェスコ 成岡 宏晃氏
大阪聖アンデレ教会出身
聖公会神学院在学中

ペテロ 金山 将司氏
前橋聖マツテヤ教会出身
川口基督教会信徒
ウィリアムス神学館在学中

主催：大阪教区神学生後援会

（かなやま まさし・教区神学生、ウィリアムス神学館在学中）

在日韓国・朝鮮人宣教委員会による「日韓・在日学習会シリーズ」

東京教区の李民洙司祭を招いて

司祭 ペテロ 岩城 聰

教区の在日韓国・朝鮮人宣

教協働委員会は、今年、日韓

キリスト教史を学んでいま

す。第一弾は2月9日に、大

阪教区・恵我之荘聖マタイ教

会の趙ジョンピル司祭を招い

て、『韓国キリスト教の流れ』

と題して、基本的な歴史とそ

の視点を学びました。第二弾

は、6月8日(土)に、東京

教区の李民洙司祭をお招き

して、『1945年以後行わ

れた韓国キリスト教政治的土

着化運動―韓半島の統一と民

主化』というテーマで、大阪

城南キリスト教会を会場にし

て講演会が行われました。李

民洙司祭は、東京で「カフ

エ・エクレシア」というカフ

エを拠点にしてユニークな宣

教活動を展開しておられます。

少々長目のタイトルでしたが、

「政治的土着化」という言葉は、

韓国社会において政治や社会

の領域で、キリスト教がしつ

かりと根を下ろし、イエス・

キリストの福音の土着化(あ

るいはインカルチュレーション)を成し遂げているという

現象を示しており、教会がそ

の預言者の働きを通じて、世

の中を導いていることを表し

ています。李民洙司祭は豊富

な実例を挙げつつ、韓国キリ

スト教の歴史を分かりやすく

説明してくださいました。講

演会には、約30人が出席し、

活発な討論が行われました。

9月28日(土)午後2時か

らは、ソウルの延世大学教

授・明治学院大学客員教授の

徐正敏(ソジ

ョンミン)先

生をお招きし

て、大阪城南

キリスト教会

で講演会を行います。テーマ

は、『韓国キリスト教の理解

―その葛藤と分裂の歴史』で

す。詳細は囲み記事参照。

(いわき あきら 大阪教区

在日韓国・朝鮮人宣教協働

委員会委員長)

委員会は、今年、日韓

キリスト教史を学んでいま

す。第一弾は2月9日に、大

阪教区・恵我之荘聖マタイ教

会の趙ジョンピル司祭を招い

て、『韓国キリスト教の流れ』

と題して、基本的な歴史とそ

の視点を学びました。第二弾

は、6月8日(土)に、東京

教区の李民洙司祭をお招き

して、『1945年以後行わ

れた韓国キリスト教政治的土

着化運動―韓半島の統一と民

主化』というテーマで、大阪

城南キリスト教会を会場にし

て講演会が行われました。李

民洙司祭は、東京で「カフ

エ・エクレシア」というカフ

エを拠点にしてユニークな宣

教活動を展開しておられます。

少々長目のタイトルでしたが、

「政治的土着化」という言葉は、

橋下徹氏(日本維新の会共
同代表・大阪市長)による、
いわゆる従軍慰安婦制度に関
する一連の発言が公にされた
のは、5月13日でした。また、
米軍普天間飛行場での風俗業
発言は5月の連休中のことで
した。これらの発言の問題性
が、一気に拡大論議されたのは
15日からです。以後約1カ月
は、世論はこれに終始し振り
舞わされて、国会で重要懸案
事項を煮詰められないままに
7月21日の参議院議員選挙に
突入してしまいました。

教区・社会宣教委員会では、
政治的思惑や感情的やりとり
だけでなく「慰安婦問題」の
何が真実なのかを求めて、冷
静に歴史的事実を捉え、共に

日本軍「慰安婦」問題について学ぶ会

司祭 ペテロ 竹林 徑一

考え話し合う場が必要と判断
し、急遽「学ぶ会」を企画し
ました。

6月30日(日)午後2時か
ら、大阪聖パウロ教会を会場
に、日頃からこのテーマに関
心を持って集め編集した資料
をもとに約80分の講演・解説
を、山野繁子さん(堺聖テモ
テ教会信徒)がしてください
ました。7教会から若い信徒
など20名(男女半々)が集い、
熱心に聞き入り、質疑して散
会しました。アンケートでは、
関心の深さが読み取れました。
今後に向けて、忘れることな
く地道な積み重ね、アピール
が必要と考えています。

6月6日に逝去した作家の
なだいなだ氏が、月刊誌「ち

くま」7月号に「必然の失言」
と題して、強烈な橋下氏批判
を書いています。絶筆です。

「(前略)「貧困のためにわ
が子や女性を性商売のために
売ることが」まかり通ってい
たのが、戦争の時代なのだ。
戦争が侵略戦争であるかどう
か、名目で争うのは意味が無
い。敗戦はそういう戦争の時
代が終わったことを意味する。
敗戦でその時代の支配者たち
天皇直属として威張る軍人が
追われたのだ。追ってくれた
のが、アメリカを中心とした
連合軍だった。日本人の手で
追い出されていたら、一番良
かったのだ。戦争が終わった
ことを一番喜んだのが日本人
だった。そのことは戦後の日
本文学によく書かれている。
歴史教科書より、小説でも読
めよ」

「平和憲法が危ない!」講
演会に通じる内容です。揺れ
動く社会情勢を、信仰の目で
聖書から大いに学びつつ、冷
静に見つめ判断することが求
められる時代だと考えます。
(たけはやし けいいち・社
会宣教委員長)

日韓・在日学習会シリーズ

ソ ジョンミン

徐正敏先生 講演会

(延世大学教授・明治学院大学客員教授)

韓国キリスト教の理解―その葛藤と分裂の歴史

日時: 2013年 9月28日(土)午後2時~

場所: 大阪城南キリスト教会

主催: 大阪教区在日韓国・朝鮮人宣教協働委員会

わたしたちが見聞きしたパレスチナ

司祭 ペテロ 竹林 徑一

シリアやトルコ、エジプトという中東諸国の紛争内乱が混迷を深める中、周辺諸国の人々にも、暮らし・命に関わる大きな影響が生じています。特に私たち大阪教区が10年以上支援（ガザ地区の児童の栄養状態改善）しているパレスチナの人々の厳しい状況は、現地で自分の目で確かめるのが一番です。

6月27日（木）晚には大阪聖パウロ教会で「私たちが見聞きしたパレスチナ」という分かち合いの場を持つていただきました。

分離壁・消えた村・家屋破壊・家や土地の一方的没収とユダヤ人入植地・水などの、パレスチナ住民（イスラム・キリスト両教徒）の直面する問題が山積する中で、エルサレム教区はどのようなビジョンを持って、何をしているのか熱く語られました。

2012年11月に「パレスチナ問題とキリスト教」（村山盛忠著、ぶねうま舎1990

奏楽奉仕者のためのワークショップ

奏楽者がすべきこと、奏楽者に出来ること

日時：9月29日(日) 午後2時
場所：川口基督教会にて
講師：鈴木 隆太氏

当日の聖餐式(10時半)の奏楽も鈴木隆太氏です。どうぞ朝からおいでください。

主催：礼拝・音楽委員会
川口教会オルガニストギルド

大阪教区婦人会 秋の修養会

日 時：10月18日(金) 午後1時
場 所：石橋聖トマス教会
テーマ：「平和がありますように」
～東日本大震災被災者支援活動を通して～
講 師：ミカエル 松本 普
(元聖ヨハネ修士会ブラザー)

男性の方もどうぞご出席ください。

日本聖公会婦人会第24(定期)総会開かれる 次期会長選出教区は京都に決まる

大阪教区婦人会会長 マルタ 宇野喜句子

0円」という非常に分かりやすい、お勧めの本が出ました。我々に無縁でないこの世界的な問題を、正確にとらえ、何が出来るかを共に考える機会を増やしていきたいと考えています。

(たけばやし けいいち・社会宣教委員長)

者でした。その日はとっても蒸し暑い曇り日でしたが、聖堂はとても広く、少し暗めの落ち着いた祈りの場でした。

横浜教区婦人会はこの3年間、会長教区として、また、私達の代表として日本聖公会婦人会を担われ、数多くのことを発信し、活動をされました。特に、東



心の支援プログラム（特に、被災された子供達とその親御さん対象）にも支出できるようになりました。

次期会長選出教区には京都教区が選ばれ、感謝箱献金・被災日献金を中心とし、会員相

その参加関係者4名が、今年9月のツアー（大阪・中部教区から8名参加、内3名は奥村・千松・古澤の3執事）の事前学習会に来阪くださり、

去る6月18、19日、横浜教区主教座聖堂（横浜聖アンデレ教会）にて、第24定期総会が開かれました。植松誠首座

主教様、三鍋裕主教様、ご臨席のもと、代議員、役員、傍聴者（各教区チャプレン、各教区会員）等100名の出席

互の交わりを大切に運営されます。尊い働きを感謝し、共に歩みたく思います。大阪教区より傍聴者として多くの方が出席してくださり、心強く、嬉しい思いをいたしました。

（うの きくこ・聖贖主教会 信徒）



原発5km地点の祭壇

2013年6月19日、横浜聖アンデレ教会を52名がマイクロバス2台で出発。郡山聖ペテロ聖パウロ教会へ。この教会の聖堂は築80年、併設するセントポール幼稚園と共に除染作業を続けています。全壊した会館は「いっしょに歩こう！プロジェクト」等の支援で再建されました。夜は二本松市岳温泉で越山司祭のお話。翌20日は南相馬へ。「汚染迂回路」の看板の所で方向転換し、通称「六角支援隊」「原発事故から命と環境を守る会」へ向かう。原子炉建屋5km圏内立入り禁止、5〜10kmは屋間のみ可。緑の牧場の

日聖婦の旅
郡山・南相馬へ

ヴェロニカ 岐邨 章子

世界の窓

2013年6月19日、横浜聖アンデレ教会を52名がマイクロバス2台で出発。郡山聖ペテロ聖パウロ教会へ。この教会の聖堂は築80年、併設するセントポール幼稚園と共に除染作業を続けています。全壊した会館は「いっしょに歩こう！プロジェクト」等の支援で再建されました。夜は二本松市岳温泉で越山司祭のお話。翌20日は南相馬へ。「汚染迂回路」の看板の所で方向転換し、通称「六角支援隊」「原発事故から命と環境を守る会」へ向かう。原子炉建屋5km圏内立入り禁止、5〜10kmは屋間のみ可。緑の牧場の

◎オーストラリア国防軍の主教任命
オーストラリア聖公会の主教イアン・ランバート師父が、国防軍の新

動を通して国内外における国防軍共同体が、一致団結できるように奨励することにある。ランバート師父は「就任を通して聖公会が活躍できることを恵みに感じる。また、この働きによって、チャプレン達の魂に火を灯しリフレッシュさせ、軍の人々やその家族の命の中に神の臨在があるという理解を促進できる。そのことを楽しみにしている」と語っている。この就任式には国防軍副長官、空軍司令官、海軍長官および、キリスト教諸派を含む多くの宗教関係者が参列した。

徒)

ような雑草の陰に船や車、農機具が放置、海岸には5トンの石が打ち上げられたまま。復興とはほど遠い眺めです。仮設住宅では手工芸品作り、ビニールハウスには野菜、田植えもされ、本来の農作業が可能になりました。少しでもお役に立っていることを見て頂き、これからも微力ではありますが支援を続けることが大切だと思います。

(きむら あきこ・東豊中聖ミカエル教会信徒)

派を含む多くの宗教関係者が参列した。

(Anglican Communion News Service: July 9, 2013)
◎ナイジェリア総裁主教、「繁栄神学は一部真実!?」
ナイジェリア聖公会総裁主教ニコラス・オコウ師父が、「すぐに金持ちになれる」という説教の解説内容で非難されている。そのような考え方は「繁栄神学」と呼ばれ、その国のペンテコステ派と呼ばれる教派で主張されているものだ。彼はテレビのゲストスピーカとして出演し、「その

大阪 教会音楽祭 2013
参加メンバー 募集

「大阪 教会音楽祭」は、大阪にあるキリスト教の教派が各自の聖歌を歌い、交わりを深めるエキキュメンカルな集いです。聖公会は、下記の4曲を歌う予定です。楽しいひとときを過ごしましょう！奮ってのご参加をお待ちしております。

日時 2013年 9月16日(月・敬老の日)午後2時~5時

場所 日本基督教団 天満教会
(大阪市北区天神西町 4-15)

★練習日に参加できなくても、当日の参加は可能です。
当日は13時にお集まり下さい。駐車場はありません。

《練習日》	8月31日(土)午前10時30分~12時
《練習場所》	川口基督教会 聖堂
《曲目》	日本聖公会 聖歌集
	第458番 神の恵みは
	第355番 ベツレヘムの村
	第476番 暗闇行くときには
	第412番 主を求めよ

主催：聖霊降臨日前夕の礼拝実行委員会
共催：大阪キリスト教連合会
問い合わせ：司祭 テモテ 内田 望 (TEL 072-261-2015)

ような信仰は、ナイジェリアにキリスト教をもたらした宣教師の教えを土台としない」としつつも「牧師たちが語る、個人的な進歩と豊かさを求める説教は一部真実である」と解説した。総裁主教は「そのような信仰は、私たちが始めたことでも宣教師たちが教えたことでもないが、従う者に富が与えられるのは一部真実である。神は全ての物の所有者であり、全宇宙の所有者である。例えば、ナイジェリアで採掘される原油は国際マ

ケットで売られ巨額の富を得ているが、それらの資源も神の所有物である。神は富んだ方であり、その子ども達もそうである。私たちは神の王子であり王女なのだ。しかし、そのことは倫理的観念がないということの意味しない」と語り波紋を呼んでいる。

(Anglican Communion News Service: July 9, 2013)
司祭 ヤコブ 松平 功
(まつだいら いさお 桃山学院大学チャプレン)

教 区 の 動 き

常置委員会報告

6月10日(第8回定例)

I. 主教報告

* 5月18日、執事按手式(聖職候補生ヤコブ義平雅夫)が主教座聖堂で行われた。同日付で同師を東豊中聖ミカエル教会牧師補に任命。

* 5月21日、上原榮正司祭(三原聖ペテロ・聖パウロ教会牧師、56歳)、主教被選者となられる。9月7日主教按手式・沖繩教区主教就任式の予定。

* 「同和問題にとりくむ大阪宗教者連絡会議(大宗連)」の議長教団を天理教に次いで、日本聖公会大阪教区が14年4月から16年3月まで担当することが決定。

* 執事オーガスチン関川頌康(旧名浩昭)氏(休職中)の退職願を5月31日付で受理。

* 6月3日、聖バルナバ病院創立140周年の記念礼拝が行われた。

* 6月4日、小名浜聖テモテボランティアセンターの第二期終了感謝礼拝が行われた。

* 7月2、4日、京都教区との合同教役者修養会が白浜で開催される。

* 大阪教区成立90周年を記念して、栞(祈禱書サイズ)の作成を進めている。

II. その他諸報告

* 8月5、6日に開催される「広島平和礼拝2013」の案内。

* 8月19、21日、京都で開催される日本聖公会女性会議に小野創(守口復活)、畑野希美(大阪聖三一)、井上恵美子(高槻聖マリヤ)3名の派遣を決定。

* 大阪教区と京都教区の協働及び合併に関して、現在実施中のアンケート分析を始めており、その結果を踏まえて、新たな委員会で作業を行うことを想定している。

* 昨年の教区礼拝取りやめのため開催されなかった川田昌

東氏の講演会を企画、9月14日に聖贖主教会で行うことを検討中。

* 財務委員会に於いて、14年度大阪教区一般会計予算(案)を作成、7月19日に教会会計委員懇談会をもち、説明を行う予定。

III. 協議事項

* 関川頌康執事への退職金につき、教役者養老厚生基金運営規則に則り計算、養老厚生基金委員会へ報告、承認を得て支払うことに同意。

* 京都教区開催の「信徒の集い」の参加について、「大阪教区と京都教区の協働及び合併に関する検討委員会(OK委員会)」より連合男子会に声掛けすることを確認。

* 芦屋聖マルコ教会より、貸付金完済による感謝献金が献げられ、財務委員会提案の「特定資産保守引当金」に受け入れることを承認。

7月8日(第9回定例)

I. 諸報告

* 福田光宏司祭、済生会中津

大阪教区 礼拝・音楽委員会 聖布ししゅう会

オルターギルド(祭壇奉仕)の集い

8月20日(火) 10:30~15:00

9月17日(火) 教区館2階にて
(毎月第3火曜日)

どなたでもおいでください。特に、教会の祭壇奉仕で困っていることなどがありましたら、ご相談にのります。

内容：オルターギルドの奉仕内容を分かち合いながら、礼拝で用いられる聖布類を自分たちで作ってお届けします。

持ち物：昼食、お茶
裁縫箱など普段使用しているものはさみ、ものさし、筆記具など

●基本的に、毎月第3火曜日に行われますが、行事などにより、変更される場合もあります。詳しいお問い合わせなどは、教区事務所(TEL: 06-6621-2179)または、礼拝・音楽委員会協力委員(オルター奉仕): 斎藤みち(石橋聖トマス教会信徒) 072-738-2476まで

病院に入院、加療を続けられている。

* 松原栄主教、昨年末道路で転倒、足腰を痛め入院後、堺市の長女宅に転居された。

* 小池虔二司祭夫妻、泉南市樽井の高齢者向け住宅へ転居された。

* 日本聖公会婦人会総会で次期会長教区は京都教区に決定。

* プール学院では16年後の創立150周年を目指し、総額10億円の「オクスラド基金」を創設、募金活動を開始する。

* 川口基督教教会(主教座聖堂)の屋根、オルガン等の補修工事が終了したが、新たに塔から雨漏りが発生、補強工事が

必要になり実施する。

* 教区事務所の夏季休業は8月10日(土)~18日(日)まで。

II. 協議事項

* 上原榮正師の主教按手式・沖繩教区主教就任式(9月7日)に、教区代表として岩城聰司祭に出席していただく。

他に磯晴久司祭、竹林徑一司祭が出席される。

* 川口基督教教会に於いて、豊竹英太夫による「ゴスペル in 文楽」(聖書物語を大阪の伝統芸能文楽(人形浄瑠璃)で描いたもの、の公演を予定

(12月23日、昼・夕2回)しており、大阪教区の後援要望があり同意。

(以上)

教会・施設の動き

大阪市内南ブロック4教会
合同礼拝開催

恒例となっている大阪市内
南ブロック（聖ガブリエル、
大阪城南、大阪聖アンデレ、
大阪聖愛教会）の合同礼拝は
6月23日に大阪聖愛教会にお
いて開催され、116人の出
席者があった（ガブリエル8
人、城南17人、聖アンデレ
30人、聖愛61人）。説教
者は上田憲明司祭で、出身教
会でもある城南キリスト教会

のメンバーや「愛の園ワーク
キャンプ」の仲間たちとの数
十年ぶりの再会の機会ともな
った。当日の信施は76、7
39円で、聖公会生野センタ
ーのために献げられた。昼食
後は参加者が数グループに分
かれ、楽しいゲームに興じて
交わりを深めた。

川口基督教会

○礼拝堂大屋根修繕工事は無
事終わりましたが、塔の部
分からの雨漏りが発見され、
追加工事をする必要に迫ら

れています。
○9月15日（日）午前10時30
分から、長寿感謝礼拝・川
口基督教会創立記念礼拝と
併せて、大屋根修繕工事完
成感謝記念礼拝を行います。
ご協力をいただきました教
区の皆様、是非ご参加くだ
さり、よろこびを分かち合
ってくださいますようご案
内申し上げます。

○12月23日（月・休）午後1

時30分、および午後5時より、
「ゴスペル・イン・文楽」と
題して、イエス・キリスト
の生誕から復活まで
を描いた文楽を上演
いたします。純日本
的な形式によるイエ
ス・キリストの福音
は、きっと多くの皆
様の心にイエス様
のご降誕のよろこびと
その受難と復活の意
味を鮮明にお届けす
るでしょう。聖公会
の皆様には、別途ご
案内申し上げますの
で、ふるってお申し
込みください。

公 示

救主降生2013年5月18日
日本聖公会大阪教区主教
主教 サムエル 大西 修

以下の人事を発令します。

執事 ヤコブ 義平 雅夫

東豊中聖ミカエル教会牧師補に任命する。

公 示

救主降生2013年6月10日
日本聖公会大阪教区主教
主教 サムエル 大西 修

執事 オーガスチン 関川 頌康（旧名 浩昭）

願いによって退職を許可する。

全席指定 4000
円（10月1日発売）。

申込みは川口基督教会へ。
専用TEL090-6050-
5805

大阪城南キリスト教会

○教会コンサートとティー・
タイム（仮称）

*日時：9月29日（日）午後
1時30分（1時開場）

*会場：大阪城南キリスト教
会礼拝堂

*演奏：廣末規久子さん（城
南）、槻本愛さん（聖三一）、
植原久美子さん（石橋聖ト
マス）

*曲目：バッハ「トッカータ
とフーガ ニ単調」、グノー
「ハッハ「アヴェ・マリア」、
ヘンデル「ラルゴ」、秋のメ
ドレー他

西宮聖ペテロ教会

○「バイオリンとパイプオル
ガン・コンサート」

*日時：10月12日（土）14時
開演

*演奏者：北島里枝さん（バ
イオリニスト）、甲斐弦也さ
ん（オルガニスト）

*場所：西宮聖ペテロ教会
聖堂

尼崎聖ステパノ教会

○8月18日（日）12時30分から
ステパノ教会夏祭りを予定。

聖ルシヤ教会

○教会創立40周年の行事とし
て、9月29日（日）の午後
2時から、大阪音楽大学卒
業生による歌のコンサート
と露のききょうさんの福音
落語を行います。お越しく
ださい。

守口復活教会

○小枝用シュレッダー貸出
庭木の手入れをした時、小
枝がごみ袋を破りません
か？どのようにして捨てて
いますか。小枝用シュレッ
ダーは便利です。必要な教
会はご連絡ください。貸し
出します。連絡先：守口復
活教会 TEL:06-699
2-3307



連合男子会

○一日修養会

日時：10月12日（土）14時
より

場所：大阪聖愛教会

講師：大畑喜道主教（東京
教区）

教区関係教役者
逝去者記念聖餐式

◇ 9月11日 (水) 10時30分

於：主教座聖堂 (川口基督教会)

- 説教者：アンデレ 磯 晴久司祭
4日 執 事 ラザロ 布施 好古 (1938)
6日 主 教 ヨハネ 名出 保太郎 (1945)
9日 司 祭 ジェームズ・J・チャプマン (1946 英)
11日 司 祭 チャールズ・ハムデン・バジル・ウッド (1941 英)
12日 主 教 ヘンリー・エヴァントン (1912 英)
14日 宣教師 ドロシー・サローム・ワインウイelson (1963 英)
23日 主 教 ペテロ 柳原 貞次郎 (1973)
司 祭 ドナルド・F・ウインズロー (2000 米)
25日 司 祭 田中 正之助 (1927)
27日 宣教師 エルシー・メイ・ベイカー (1977 英)

◇ 10月9日 (水) 10時30分

於：主教座聖堂 (川口基督教会)

- 説教者：ヨハネ 木村幸夫司祭
2日 司 祭 ジョージ・チャプマン (1940 英)
9日 主 教 ヨハネ 山田 襄 (1993)
12日 司 祭 マルコ 岡 精三 (1997)
16日 主 教 ペテロ 松井 米太郎 (1946)
主 教 サムエル・ヘーズレット (1947 英)
18日 司 祭 ステパノ 木庭 孫彦 (1928)
20日 司 祭 チャールズ・セオドア・ワレン (1949 英)
23日 司 祭 ステパノ 遠藤 敏雄 (1971)
24日 司 祭 深田 直太郎 (1945)
司 祭 ペテロ 横田 久明 (1995)
25日 宣教師 イブリン・アリス・レーン (1971 英)
29日 司 祭 セオドア・ステファンズ・ティング (1927 英)

*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第2水曜日午前10時30分から、
主教座聖堂 (川口基督教会) で行われます。ご関係の有無にか
かわらず、どうぞ自由にご参加ください。



○川口基督教会

エズラ 角 良真
ピエタ 枘 多恵子

マルコ

(3月31日)

○石橋聖トマス教会

レオ 小松 令旺
(6月2日)

○川口基督教会

エズラ 角 良真
スザンナ 福島 加納子
ピエタ 枘 多恵子

(3月31日)

○石橋聖トマス教会

ミリアム 山崎 恵
レオ 小松 令旺
パウロ 森内 幸春
マリア 一柳 百

(6月2日)

○聖ガブリエル教会

ダビデ 平川 玄規

(6月16日)

○大阪聖パウロ教会

マタイ 高羽 大介

(7月7日)

○川口基督教会

テレサ 奈須野 裕子

(3月28日・88歳)

浅沼 成

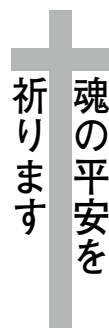
(5月27日・94歳)

ハンナ 久保 淵光子

(6月8日・97歳)

マルタ 久保 篤代

(7月22日・89歳)



○大阪聖愛教会

薮本 知恵子

(3月28日・76歳)

お詫びと訂正

6月2日発行の教区報第431号における間違いを訂正し、お詫びします。

※7頁4段目

教会・施設の動き

○尼崎聖ステパノ教会

(誤) 3月31日午後、記念交

流卓球大会

(正) 3月17日午後

編集後記

教区成立90周年記念礼拝に向けて聖歌隊の練習がはじまりました。アシジの聖フランシスコの「平和の祈り」が礼拝堂に響いています。今回は、再始動しはじめた社会宣教委員会からの寄稿や管区からの特別寄稿「原発についてのQ&A」など読み物を満載しました。
「主の平和」を願って、皆様に教区報第432号をお届けできることを喜びに思います。
(広報委員一同)